

2018年6月29日

多摩都市モノレール株式会社

**多摩都市モノレール株式会社****第32期（2017年度）決算及び第1期中期経営計画2018～2021について**

多摩都市モノレール株式会社（本社：東京都立川市、社長：醍醐 勇司）では、本日開催された第32回定時株主総会において、第32期（2017年度）決算及び第1期中期経営計画2018～2021を報告いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

## 記

**1 多摩都市モノレール 第32期（2017年度）決算概要【資料1】**

- 乗車人員・運輸収入・営業収益は、昨年度に引き続き過去最高を更新
- 営業利益・経常利益・当期純利益を引き続き確保

**2 多摩都市モノレール 第1期中期経営計画2018～2021策定について【資料2】**

昨年、当社は多摩地域のさらなる発展に貢献するため「長期経営方針」を定めました。

「第1期中期経営計画2018～2021」は、この長期経営方針に基づく、今後4年間に当社が取り組むべき具体的な施策を明らかにしたものです。

**● 第1期中期経営計画における4つの目標****1 安全の確保**

- (1) 安全管理体制の充実・強化 (2) 施設や車両の安全性の確保・向上

**2 お客様サービスの向上**

- (1) お客様の使いやすさを大切にするダイヤの実現 (2) 快適で便利な環境の整備

**3 沿線地域との連携**

- (1) 多摩モノレールのブランドづくり (2) 沿線地域の活性化に寄与するための取組

**4 経営基盤の強化**

- (1) 自立した財務基盤の確立 (2) 将来を担う人材の育成と組織の強化  
(3) 更なる未来を見据えた取組

**【お問合せ先】**

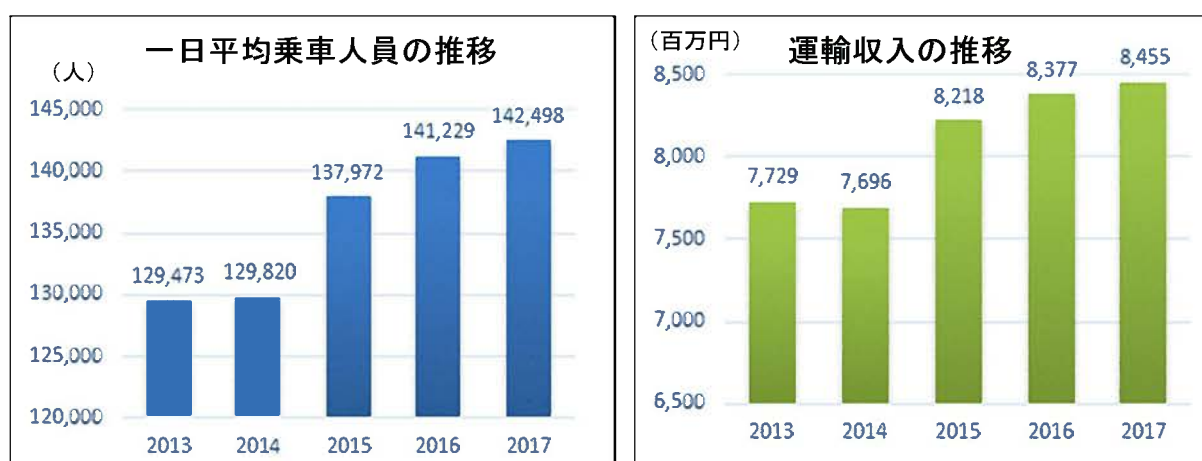
多摩都市モノレール株式会社 総務部総務課 TEL:042-526-7800(平日9:00～17:45)

## 多摩都市モノレール 第 32 期（2017 年度）決算概要

## 1 乗車人員・運輸収入・営業収益は、昨年度に引き続き過去最高を更新

第32期は、通勤定期が雇用環境の改善等により前期比2.8%増と引き続き堅調に推移し、通学を含めた定期全体では前期比1.0%増、定期外では前期比0.7%増、全体としての一日平均乗車人員は前期比0.9%増の142,498人となりました。これに伴い運輸収入は前期比0.9%増の84億55百万円となりました。

また、運輸雑収については、乗車人員の増加に伴い店舗事業収入や自動販売機収入が増加したほか、鉄道各社からの大型広告案件獲得などにより、前期比3.5%増の2億50百万円となりました。この結果、運輸収入に運輸雑収を加えた営業収益は、前期比1.0%増の87億5百万円となり、乗車人員、運輸収入、営業収益のいずれも過去最高を更新しました。



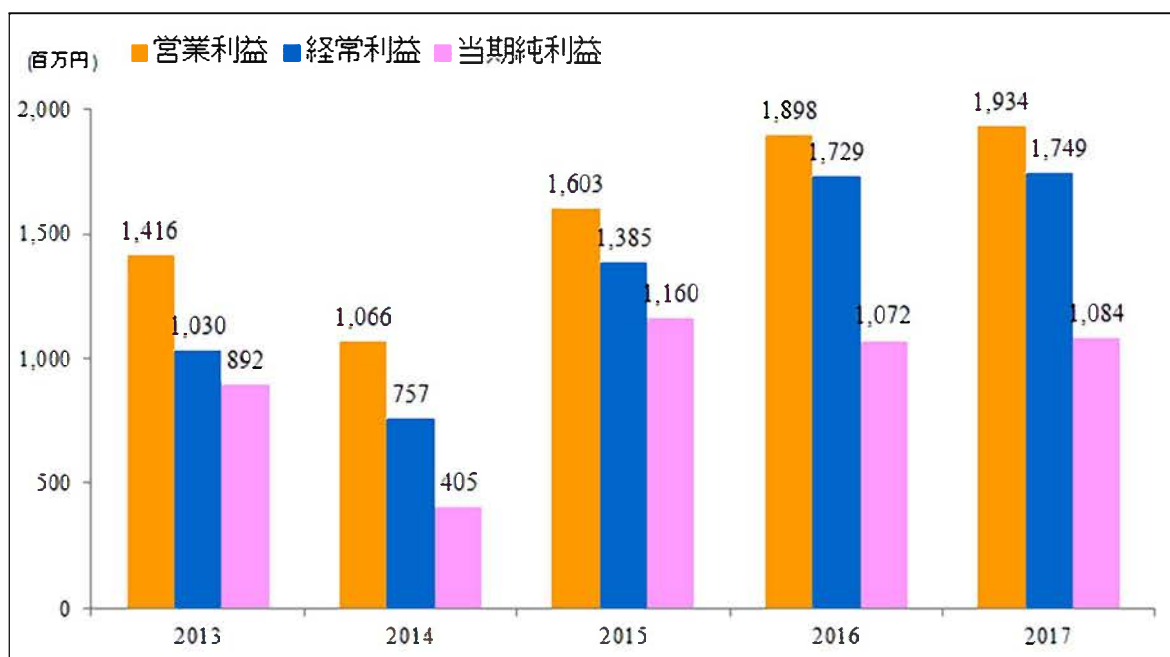
年 度	一日平均乗車人員	運輸収入	営業収益
2013 年度	129,473 人 (2.8%)	77 億 29 百万円 (2.2%)	79 億 41 百万円 (2.3%)
2014 年度	129,820 人 (0.3%)	76 億 96 百万円 (▲0.4%)	79 億 12 百万円 (▲0.4%)
2015 年度	137,972 人 (6.3%)	82 億 18 百万円 (6.8%)	84 億 52 百万円 (6.8%)
2016 年度	141,229 人 (2.4%)	83 億 77 百万円 (1.9%)	86 億 19 百万円 (2.0%)
2017 年度	142,498 人 (0.9%)	84 億 55 百万円 (0.9%)	87 億 5 百万円 (1.0%)

※ ( ) は前期比

## 2 営業利益・経常利益・当期純利益を引き続き確保

第32期は、経年化に伴う施設・設備の大規模更新や修繕費に要する経費増などがありましたが、営業収益の伸びに支えられ、営業利益は前期比1.9%増の19億34百万円となり、当期純利益は10億84百万円となりました。

この結果、引き続き営業利益・経常利益・当期純利益を確保しております。



年 度	営業利益	経常利益	当期純利益
2013 年度	14 億 16 百万円	10 億 30 百万円	8 億 92 百万円
2014 年度	10 億 66 百万円	7 億 57 百万円	4 億 5 百万円
2015 年度	16 億 3 百万円	13 億 85 百万円	11 億 60 百万円
2016 年度	18 億 98 百万円	17 億 29 百万円	10 億 72 百万円
2017 年度	19 億 34 百万円	17 億 49 百万円	10 億 84 百万円

参考資料

第 32 期 (2017 年 4 月 ~ 2018 年 3 月) 決算概況

多摩都市モノレール(株)

(単位:百万円)

(1)収支の状況

	2018年3月期	2017年3月期	増減(▲)
営業収益	8,705	8,619	86
運輸収入	8,455	8,377	77
運輸雑収	250	241	8
営業費	6,770	6,720	50
運送費	4,116	3,834	281
一般管理費	299	247	52
諸税	154	152	2
減価償却費	2,200	2,486	▲ 286
営業利益	1,934	1,898	36
営業外収益	114	139	▲ 25
営業外費用	299	308	▲ 9
経常利益	1,749	1,729	20
税引前当期純利益	1,749	1,729	20
法人税、住民税及び事業税	692	676	15
法人税等調整額	▲ 27	▲ 19	▲ 7
当期純利益	1,084	1,072	12
減価償却前経常利益	3,949	4,215	▲ 266

(主要増減内訳)

○営業収益

- 運輸収入の増 77 (沿線開発の進展等による乗車人員増)
- 運輸雑収の増 8 (広告事業の収入増等)

○営業費

- 運送費の増 281 (修繕費・動力費の増等)
- 一般管理費 52 (業務委託費の増等)
- 減価償却費の減 ▲ 286 (前期除却損項目減による減等)

(2)資産・負債の状況

	2018年3月期	2017年3月期	増減(▲)
流動資産	12,444	10,351	2,092
現金・預金	8,411	5,973	2,437
その他	4,033	4,378	▲ 345
固定資産	61,854	64,197	▲ 2,342
有形固定資産	61,515	62,681	▲ 1,165
その他	339	1,516	▲ 1,177
資産合計	74,299	74,549	▲ 249
流動負債	7,143	5,174	1,969
短期借入金	3,349	2,165	1,183
未払金他	3,793	3,008	785
固定負債(長期借入金他)	34,050	37,353	▲ 3,302
負債合計	41,193	42,527	▲ 1,333
資本金	100	100	0
資本剰余金	25,923	25,923	0
利益剰余金	7,082	5,998	1,084
純資産合計	33,106	32,021	1,084
負債・純資産合計	74,299	74,549	▲ 249

(主要増減内訳)

○流動・固定資産

- 現金・預金の増 2,437 (有価証券償還による預金の増等)
- 固定その他の減 ▲ 1,177 (満期保有有価証券の減等)

○流動・固定負債

- 借入金の返済 ▲ 2,165

(注)単位未満を切り捨てにしているため、合計及び増減は一致しないことがある

## 【概要版】多摩都市モノレール 第1期中期経営計画 2018～2021

## I 経営の現状

## ○ 堅調な伸びを続ける輸送人員と安定的な経営

輸送人員(一日平均乗車人員)は、沿線開発の進展や増客増収の取組が効果を発揮し、堅調な伸びを続けており、2017(平成 29)年度は 142,498 人となり、過去最高を更新しました。

損益収支は、増収や経費節減の継続的な取組を実施したことにより、10 期連続で経常利益と当期純利益を確保しました。

## II 中期経営計画の位置づけ

## 1 計画策定の背景

当社は 2008(平成 20)年度に策定した経営安定化計画以降、毎年度黒字を計上し再建が軌道に乗りました。今後は会社の自立と持続的成長を目指す新しいステージに進む必要があります。

また、前中期経営計画(2012 年 6 月)の計画期間が 2018(平成 30)年度までとなっていることから、その先を見据えた新たな中期経営計画を策定することといたしました。

## 2 計画の性格

中期経営計画は、昨年度に策定した長期経営方針に即して中期的に取り組む具体的な事業を計画としてまとめたものです。

## 3 計画の期間

長期経営方針は、2028 年頃までの概ね 10 年間を対象期間としており、第1期中期経営計画として 2018 年度から、多摩地域の人口ピーク及び東京オリンピック・パラリンピック後を見据えた 2021 年度までの4年間を対象期間として策定しました。



## 4 第1期中期経営計画における4つの目標

第1期中期経営計画は、経営の現状や前中期経営計画の取組成果、更に人口減少社会の到来が見込まれるなど経営環境の変化を踏まえ、長期経営方針で示した4つの目標に沿って、取組を展開することとしました。

目標	取組内容	目標	取組内容
1 安全の確保	(1)安全管理体制の充実・強化 (2)施設や車両の安全性の確保・向上	2 お客様サービスの向上	(1)お客様の使いやすさを大切にするダイヤの実現 (2)快適で便利な環境の整備
3 沿線地域との連携	(1)多摩モノレールのブランドづくり (2)沿線地域の活性化に寄与するための取組	4 経営基盤の強化	(1)自立した財務基盤の確立 (2)将来を担う人材の育成と組織の強化 (3)更なる未来を見据えた取組

### Ⅲ 第1期中期経営計画の目標と主な取組

1 安全の確保	
<p>(1) 安全管理体制の充実・強化</p> <p>① 安全管理体制の継続的改善</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・安全重点施策の策定と実施</li> <li>・「輸送の安全を考える日」の取組の実施 等</li> </ul> <p>② 異常時対応力の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・異常時訓練の実施</li> <li>・運行状況など情報発信の強化 等</li> </ul>	<p>(2) 施設や車両の安全性の確保・向上</p> <p>① 適切かつ計画的な保守管理と更新の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・運行管理システムの更新</li> <li>・車両設備の更新 等</li> </ul> <p>② 更なる安全性向上のための施設づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・支柱や軌道桁の安全性強化</li> <li>・ホームモニターの更新 等</li> </ul>
2 お客様サービスの向上	
<p>(1) お客様の使いやすさを大切にする ダイヤの実現</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本格的なダイヤ改正</li> <li>・より利便性の高いダイヤの追求</li> </ul> <p>(2) 快適で便利な環境の整備</p> <p>① 快適な移動空間の創出</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・駅舎改修</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・駅施設の利便性向上</li> <li>・車両設備の更新 等</li> </ul> <p>② 接客・案内サービスの充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・無人駅における案内サービスの改善</li> <li>・分かりやすい案内表記の実現 等</li> </ul>
3 沿線地域との連携	
<p>(1) 多摩モノレールのブランドづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ブランディング戦略の展開</li> <li>・開業20周年記念事業の実施</li> </ul> <p>(2) 沿線地域の活性化に寄与するための取組</p>	<p>① 多摩モノレールの特性を活かした地域の賑わい創出への貢献</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・駅や車両、運営基地等を活用した各種イベントの開催</li> </ul> <p>② 沿線自治体、各種関係機関等と協働した取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・沿線自治体や沿線に立地する企業等との連携</li> </ul>
4 経営基盤の強化	
<p>(1) 自立した財務基盤の確立</p> <p>① 安定した収益の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・安定した運輸収入の確保</li> <li>・付帯事業の着実な増収 等</li> </ul> <p>② 健全な財務体質づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・財務戦略の強化と進捗管理の徹底</li> </ul>	<p>(2) 将来を担う人材の育成と組織の強化</p> <p>① 社員を活かす制度・環境の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人事制度の再構築</li> <li>・働きやすい職場づくり</li> </ul> <p>② 機能的な会社組織の構築</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・組織体制の再編</li> </ul> <p>(3) 更なる未来を見据えた取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・モノレールの延伸への対応</li> </ul>